

## 【水彩画クラブ27】卒業後7年目の活動 2019年11,12月

◇第151回活動:2019年11月24日(月) 午後1時から ヌエック207室

仕上げてきた前回課題の『智光山公園の水辺』を黒板に並べ、内ちゃん先生から画評を聞いた。



今日の活動から、新課題『古代蓮・水城公園の水辺』を描いていく。

各自宿題で、正面の黄色や緑、紅い葉っぱに色を塗ってマスキングしてきた。



1. 左側2マス目、太い杭から右側に見える紅葉の葉っぱを描いていく。

宿題で紅葉の葉っぱを描いてこなかったもので、最初に紅葉を描いてマスキングする。

① 最初に、見えている紅葉の葉っぱを黄色で塗っていく。

② 紅葉の色をつくる。

赤茶色、鮮紅色、オレンジ色を水溶きしておく。

③ 赤茶色に少し鮮紅色を混色した紅い色を小筆に取り、課題を見ながら紅葉の葉っぱを描くように塗っていく。直ぐに水筆で形を整えていく。

④ 課題を見ながら、濃く見える紅葉にオペラを小筆に取って塗っていく。

薄めの紅葉にはオレンジ色を小筆に取り、課題を見ながら整えるように描いていく。

⑤ 描いてきた紅葉や黄色い葉っぱなどに、課題を見ながら葉を描くようにマスキングしていく。

2. ドライヤーで全体を乾かしてから、葉っぱの後ろに見える杭を描いていく。

① 最初に、白く見える杭の上面、杭や葉っぱの間に見える細い白いスジを、マニキュアペンを使って描いてマスキングしていく。直ぐにドライヤーで乾かしておく。

② 左側太い杭の右端にマスキングペンで描くように施していく。

直ぐにドライヤーで乾かしておく。

③ 葉っぱ群の後ろに見える杭を描いていく。

(1) 杭の色をつくる。

a) 淡い茶色 赤茶色に少し紫色を混色し、水溶きしておく。

b) 黒っぽい茶色 淡い茶色に、少し暗青色を混色して黒っぽい茶色をつくり、水溶きしておく。

(2) 杭の先端から中程までを、つくっておいた淡い茶色を小筆に取り、課題を見ながら淡いめに塗っていく。

(3) 中程から下辺は、つくっておいた黒っぽい茶色を細めの小筆に取り、課題を見ながらタテ線を描くように杭を描いていく。

④ 塗ってきた色をドライヤーで乾かしてから、杭の中ほどから水面際の黒い影を描いていく。

(1) 黒っぽい影色をつくる。

黒っぽい紫色に少し暗青色を混色して、暗い影色をつくり水溶きしておく。

(2) 葉っぱ群下方の暗い影と、緑っぽい水面との薄い境目に、課題を見ながら水を塗っておく。

(3) 前項(1)でつくった暗い影色を小筆に取り、課題を見ながら杭の中程から下方へ塗っていく。緑っぽい水面との境目を水筆でぼかしていく。

3. 次回(12月8日(日))の活動予定

ヌエック研修棟 207室

## 宿題してくること

### ① 左側部分を仕上げてくる。

- (1) 下方に見える細い枝と黄色や緑色、白っぽい葉っぱを描いていく。
  - (2) 正面の太い杭を描いていく。その杭の下方に垂れ下がる細かい草木を描いていく。
  - (3) その杭の左上に見える細い枝と黄色や緑色、白っぽい葉っぱを描いていく。
  - (4) 24日に描いてきた要領で、後ろに見える杭を描いていく
  - (5) 杭の中程から下方の水面まで、暗い影色で描いて仕上げていく。
- ### ② 一番上の杭に囲まれた岸面を描いていく。
- (2) 一番左端に見える黄色い葉っぱや白っぽい葉っぱ、少し太めの草等を描いてからマスキングを施す。
  - (3) まとわるように生えている細い、曲がって密集している草の茎にマニキュアペンを使ってマスキングを施す。
  - (4) 周囲の杭上面が白っぽく見える部分にもマスキングを施す。
  - (5) 中程の杭上に見える黄色い葉っぱなども、描いてからマスキングを施す。

## ◇第152回活動:2019年12月8日(日) 午後1時から ヌエック207室

関矢さんが30分程遅れて入室された。直ぐにリハビリ中の”腰と大腿部”の痛みについて、医師の指導のもとにリハビリに励んでいる状況を、みんなに報告をされたあとに「今日は失礼します」と言って退出された。

課題『古代蓮・水城公園の水辺』の2回目習作雅始まった。

各自宿題で、

### ① 中央の太い杭と、その左側部分を仕上げる。

### ② 次回仕上げる、最上部の杭に囲まれた岸面に、

- (1) 中央の太い杭の上部にある1本の杭を描いてから、マスキングを施す。
- (2) 上部の杭にまとわるように生えている草茎に、マニキュアペンで描くようにマスキングを施す。
- (3) 原っぱに見える白や黄色の葉っぱを描いてから、マスキングを施す。
- (4) 周囲の杭上面が白っぽく見える部分にもマスキングを施す。

## 1. 黄色く見える草の茎や原っぱの草を、水溶きした黄色で描いていく。

- ① 奥の杭面に見える草の茎を、課題写真を見ながら細かい小筆で描いていく。
- ② 水溶きした黄色を中筆に取り、原っぱの黄色く見えるところにグリザイユ技法で擦るように塗っていき、直ぐに水筆で課題写真を見ながら周囲をぼかしていく。
- ③ ドライヤーで乾かしてから、杭面の黄色い草や原っぱの短い草や葉っぱにマスキングペンで描くように施していく。

## 2. 緑色の茎や原っぱの草を、水溶きした緑色で描いていく。

- ① 奥の杭面に見える緑の茎を、課題写真を見ながら細かい小筆で描いていく。
- ② 水溶きした緑色を中筆に取り、原っぱの緑色に見えるところにグリザイユ技法で擦るように塗っていき、直ぐに水筆で課題写真を見ながら周囲をぼかしていく。
- ③ ドライヤーで乾かしてから、杭面の緑色の草や原っぱの短い草や葉っぱに、マスキングペンで描くようにダブルマスキングしていく。

## 3. ドライヤーでマスキングを乾かしてから、原っぱに見える地面の土色や黒っぽいところを描いていく。

- ① 茶色っぽく見えるところに、赤茶色に少し紫色を混色してつくった淡い茶色を小筆に取り、課題写真を見ながら塗っていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。
- ② 黒っぽい茶色に見えるところに、黒っぽい紫色と焦げ茶色を混色してつくった色を小筆に取り、課題写真を見ながら塗っていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。
- ③ ドライヤーで乾かしてから、杭面の緑色の草や原っぱの短い草や葉っぱに、マスキングペンで描くように施していく。

## 4. 奥の杭を描いていく。

- ① 淡い茶色(黒っぽい紫色に焦げ茶色を混色)を中筆に取り、少し水と記して薄めにして杭の面を描いていく。
- ② 焦げ茶色に黒っぽい紫色を混ぜてつくった黒っぽい焦げ茶色を中筆に取り、課題写真を見ながら黒っ

ぼく見える杭と杭の境などを描いていく。

5. 次回(12月23日(月))の活動予定 ヌエック研修棟 207室

宿題してくること

- ① 右側の水面から立っている杭を描いてから、周囲をマスキングする。
- ② 次回活動で水面を描いていくので、
  - (1) 上部の杭頭頂部とその上部に見える葉っぱ、右側に張り出している紅葉などにマスキングする。
  - (2) 左側下部に見える枝葉を描いてからマスキングする。

◇第153回活動:2019年12月23日(月) 午後1時から ヌエック207室

課題『古代蓮・水城公園の水辺』の3回目、水面を描いて仕上げていく。

各自宿題で、

- ① 中央右側にある杭を描いてから、杭全体にマスキングをする。
- ② 杭上部の草や、右側に張り出している紅葉の葉っぱにマスキングする。
- ③ 左側下に見える葉っぱや枝を描いてから、マスキングをする。

1. 水面全体を描いていく。

- ① 水面の色をつくる。
  - a) 右側上部の水面の色 緑色に鮮青色を少し混ぜる。少し多目に水溶きしておく。
  - b) 下半分に広がる青い色 鮮青色に深青色を混ぜて、明るい水色をつくり、多目に水溶きしておく。
  - c) 少し暗い水面の色 b色に鮮青色や焦げ茶色混色してつくり、多目に水溶きしておく。
- ② 右側杭から上の水面を描いていく。
  - 1) 白く見える波頭に、課題写真を見ながら細いマスキングペンでスーッと描いてマスキングしていく。
  - 2) 右側杭の周辺や、紅葉との間に見える白っぽい水面部分にマスキングする。
  - 3) マスキングインクを乾かしてから、鮮青色に少し深青色を混ぜた色を中筆に取り、課題写真を見ながら青っぽく見えるところにスーッと描いていく。  
先にマスキングしていた波頭のところに、影のように同じ色をチョンチョンと塗っていく。
  - 4) 塗ってきた色をドライヤーで乾かしてから、ハケで全体にサーッと水を塗っていく。直ぐにa色を平筆で水面全体を塗っていく。直ぐにドライヤーで乾かしておく。

2. 中央から下の広い水面を描いていく。

(最初に右側の杭全体にマスキングを施し、直ぐにドライヤーで乾かす)

- ① 右側杭の左側に見える紅葉が映っている箇所に、赤茶色に少し紫色を混色した淡い茶色を小筆に取り、課題写真の通りではなく葉っぱの形に塗っていく。
- ② ドライヤーで乾かしてから、中央から下の水面全体にハケで水を塗っていく。余分な水をティッシュでサーッと拭取る。
- ③ 青い水色b色を平筆に取り、正面杭際から水面全体にサーッと水平に動かして塗っていく。  
塗り終わってから、課題写真を見ながら波のように淡く見えている部分を、ティッシュでサーッと拭くように動かして青色を淡くして表現していく。
- ④ 課題写真を見ながら、少し暗い緑の色(c色)を中筆に取り、暗い緑色に見えるところをサーッと塗っていく。  
同じ色を小筆にとり、課題写真を見ながら左側の杭の形や、右側の映っている葉っぱの影を描いていく。
- ⑤ 塗ってきた色が乾かないうちに、前項①でつくった淡い茶色や、濃いめにした暗い水色(c色)を小筆に取り、課題写真を見ながら淡い茶色や濃い目の暗い水色を擦って垂らしていく。直ぐに小筆で周囲をぼかして、葉っぱの形に見えるように整えていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。各自自宅で仕上げていく。

3. 次回(令和2年1月13日(月))の活動予定 ヌエック研修棟 207室

次回から習作していく課題写真『日光・大谷川だいやがわの溪流』の写真が配られた。

次回までに用意してくること、

- ① 手本用の写真(A3判タテ形)2枚を接合部で貼り合せ、手本台をつくる。
- ② 水張りしたF8(orF10)のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。
- ③ デッサンした岩石の濃いところを、水彩色鉛筆(クロ)でしるしをつける。